

(様式 1-5)

会津美里町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 4 年 5 月 9 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | |
|---|----------------------------------|-----|-----------------------|----------|----------|
| NO. | 1 | 事業名 | 戦国会津美里向羽黒山城魅力全開以心伝心事業 | 事業番号 | A-1 |
| 事業実施主体 | 会津美里町 | | 総交付対象事業費 | 千円 | |
| 既配分額 | | | 当該年度交付対象事業費 | 8,019 千円 | |
| 経費区分ごとの費用 | | | | | |
| 一 地域の魅力向上・発信事業 | | | | | |
| ①情報発信事業 | | | | 小計 | 8,019 千円 |
| i) 風評動向調査 | | | | | |
| ii) 体験等企画実施 | | | | | 8,019 千円 |
| iii) 情報発信コンテンツ作成 | | | | | |
| iv) ポータルサイト構築 | | | | | |
| ②外部人材活用 | | | | 小計 | 千円 |
| i) 企画立案のための外部人材の活用 | | | | | |
| ii) 地域の語り部の育成 | | | | | |
| 二 関連施設の改修地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 | | | | | |
| 風評の払拭に関する目標 | | | | | |
| 【アウトプット】 | | | | | |
| ①R5.1 専用サイト公開 | | | | | |
| ②山城案内アプリ、3 月公開 | | | | | |
| 【アウトカム】 | | | | | |
| OR5.3 末までのサイト訪問者数 3,000 人 | | | | | |
| 事業概要 | | | | | |
| 事業実施主体 | 会津美里町 | | | | |
| 主な企画内容 | 国指定史跡向羽黒山城と歴史ゲームのコラボレーションによる情報発信 | | | | |
| 主な事業の実施場所 | 会津美里町内 | | | | |
| 事業の実施期間 | R4.8~R8.3 | | | | |
| 企画内容 | | | | | |
| 【実施体制】 | | | | | |
| ① 実地主体：会津美里町 | | | | | |
| ② 連携団体及び役割分担 | | | | | |
| (1) 会津美里町（実施主体） | | | | | |
| ・ 会津美里町は、事業全体の企画立案と管理を行う。 | | | | | |
| (2) 一般社団法人会津美里町観光協会（事業運営の統括管理） | | | | | |
| ・ 会津美里町と連携し、主に事業運営を統括し、関係者との連絡調整やイベント等の事業の運営・管理を担う。 | | | | | |
| 【現状・課題】 | | | | | |

<現状>

- 震災以降、風評を払拭し、会津美里町に「来てもらう」ための様々な情報発信を行ってきたが、依然として会津美里町を訪れる観光客数は震災前の水準まで回復していない。
このため、これまで以上に効果的な風評の払拭と会津美里町の魅力を発信するための各種の対策が必要な状況にある。

【参考】会津美里町観光客入込数

H22 2,076,310人

H31 1,564,730人

<課題>

- 会津美里町は観光資源として国史跡向羽黒山城を有しており、昨今の山城ブームの中で強力な誘客のためのコンテンツとなり得るところ、現状、これを活かせていない。

その原因として、

- ① ほかの観光地との差別化が図れていない。
- ② 効果的な情報発信ができていない。
- ③ 観光客の受入れに関して地域の様々な人材が活用できておらず、受入れ環境の整備ができていない。ことが考えられる。

<課題解決に向けた取組の方向性>

- ほかの観光地との差別化を図り、会津美里町を「知ってもらう」ため、一般客ではなく、歴史ファン等の国史跡向羽黒山城を活かせる客層をターゲットに、これらのいわゆる「ニッチ層」の満足度を最大化するような情報発信、コンテンツ整備を行うこととする。

【現状の課題に対するこれまでの取組】

- これまで以下の取組を実施。
 - ① 会津美里町及び観光協会のホームページの観光ページの充実
 - ② 「会津美里町観光百人衆」と呼称し、情報発信のための人材育成
 - ③ 日本三大田植え祭りである「お田植祭り」など昔からの伝統行事による誘客
 - ④ 新鶴ワインまつり、季節のあやめ祭りなど、イベントによる誘客
 - ⑤ 日本遺産「会津三十三観音」など、寺社仏閣を巡らせるツアーの実施
 - ⑥ 観光誘客を目的とした、ふるさと創生事業による温泉施設建設
 - ⑦ 近隣市町村と連携しての首都圏へ、旅行会社等へのエージェント訪問

【事業実施により得られる効果】

- 昨今の山城ブームの中、誘客ターゲット層を「歴史ファン」「歴史ゲームファン」に絞って、当該ターゲット層の満足度を最大化するコンテンツを用意することで、既存の観光資源である向羽黒山城を活かした誘客を効果的に行うことが可能になる。
- また、複数年の計画的な事業展開により向羽黒山城をブランド化することで、事業終了後の持続的な誘客を可能とする。

【今年度事業における具体的な取組内容】

①向羽黒山城専用サイト構築

実施期間：R4.9月～R5.3月（サイト公開はH5.1月予定）

実施体制：外部委託（公募型プロポーザルにて選定）

概算費用：400万円

- 昨今の山城ブームの中、国史跡向羽黒山城を活かした観光客の誘客を図るため、「歴史ファン」「歴史ゲームファン」向けに特化した向羽黒山城に関する情報を発信する特設サイトを構築し、当該サイトに掲載するコンテンツの制作及び運営を行う（委託事業）。
 - ・ 専用サイトは、運営を委託する会津美里町観光協会のWebサイトに特設サイトとして設置。
 - ・ 掲載するコンテンツは、単に国史跡向羽黒山城跡を紹介するものではなく、戦国時代に本町周辺一帯を支配していた蘆名氏、特に向羽黒山城を築城し生涯居城とした蘆名盛氏に着目し、歴史ファンをターゲットに、これらのターゲット層の満足度を最大化できるものとする。
具体的には、戦国武将の城攻めの視点に立った各種コンテンツや、歴史系ユーチューバーによる解説動画も盛り込むことを予定している。
 - ・ また、歴史ファンに加え、歴史ゲームファンも取り込んだ展開も予定しており、「信長の野望」等の歴史ゲームで著名なコーエーテクモゲームス社とコラボした「信長の野望」のゲーム実況配信等を行う。
 - ・ なお、R04年度は、上記内容を主な掲載コンテンツとして専用サイトを整備、情報発信し、事業最終年度であるR07年度に向けて、段階的にコンテンツを充実する予定である。

②専用アプリと山城ナビ、音声ガイドの運用

実施期間：R4.9月～R5.3月（アプリ公開はH5.3月予定）

実施体制：外部委託（公募型プロポーザルにて選定）

概算費用：400万円

- 本事業がターゲットとする歴史ファンや歴史ゲームファンは、それぞれの山城にまつわる物語や、その歴史的背景について一定以上の知識を有しており、行動力があるこれらファン層は、その知識を基に自分のペースで山城の全貌を体感したいとの思いが強い。
このため、向羽黒山城に特化し、位置情報に対応したARによるルート案内や音声ガイドを行うガイドアプリを導入、配布することで、これらのファン層の満足度を最大化するとともに、来訪者によるSNS発信等の口コミ効果による来訪者数の増大を図る。
 - ・ ガイドアプリは、産官学連携共同開発により作成された「iTours」の導入を想定。向羽黒山城向けにカスタマイズして専用ガイドアプリとして運用する。
 - ・ 歴史ファン、歴史ゲームファンへの訴求力を高めるため、ガイドアプリには歴史的な視点での音声ガイドや、山城をせめる武将の視点に立ったルート案内の要素を盛り込むこととする。
 - ・ また、継続的な訪問客の創出を図るため、事業最終年度であるR07年度まで、上記①事業とも連動したコーエーテクモゲームス社の「信長の野望」とのコラボ企画や、向羽黒山城跡で実施を予定している各種イベントとの連動、多言語化による外国人観光客への対応等、アプリの拡張機能を利用した企画を実施する予定である。

【今年度事業における目標】※複数年度にわたって事業を実施する場合

①専用サイトの構築と公開

②案内アプリの運用開始

【今年度事業の実施により得られる効果】※複数年度にわたって事業を実施する場合

- ①歴史ファンや歴史ゲームファンを取り込むことで、行動力があるこれら特定層の全国からの誘客効果が期待できる。
- ②案内アプリを導入することで、ガイドなしで山城を踏破したいと考えている歴史ファン、歴史ゲームファンの高い満足度を獲得することができる。

【次年度以降の取組】※複数年度にわたって事業を実施する場合

- 次年度以降は以下の取組を予定。
これらの取組を中心に、向羽黒山城をモチーフにした土産品やグルメメニューの開発、地場産業の本郷焼とのコラボ等、地域の事業者とも連携した取組を推進することで、会津美里町への観光客の一層の増加を図ることとする。

【R05 年度予定】

- 専用アプリによる音声ガイドの本格運用。
- 御城印を作成、向羽黒山城跡で配布。
- 蘆名盛氏が見た会津盆地を見渡せる「天空カフェ」として、向羽黒山城跡の見晴らしのいいポイントでのバリスタによるコーヒー等の提供や、キッチンカーによる軽食の提供等を実施。

【R06 年度予定】

- ガイドアプリのスタンプラリー機能を利用した、山城と本町市街地のポイントをめぐるスタンプラリーの実施と、スタンプラリーの景品（戦国武将をモチーフにしたオリジナルの将棋駒）の作成。
- 観光大使を委嘱し、向羽黒山城を形どった「山城名刺」を作成、配布を依頼。
※ 山城名刺には「信長の野望」のロゴと特設サイトに移行させる QR コードを印刷し、専用サイトへの誘導を図る予定。

【R07 年度予定】

- 山城シンポジウムの開催。

【新型コロナ感染拡大防止対策】

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国・実施主体する地方公共団体・（イベント開催など実施主体と開催地が属する地方公共団体が異なる場合には、開催地が属する地方公共団体）が発出する通知・ガイドラインに則った形で事業を実施いたします。

<具体的な対策>

- ・入場者の AI 検温モニターによる検温チェック、体調確認
- ・新型コロナウイルス感染症対策を呼び掛けるポスター、チラシ掲示